行動計画2026（案）に係るＲ７実績及びＲ８目標の一覧

資料3-2

取組名	No.	事業	活動	R6実績	R7目標	R7実績	R8目標	目標設定理由	Ｒ７の実績を踏まえたR8目標値の整理
環境配慮型ライフスタイルへの転換(p.14~16)									
区民の行動変容の促進	1	環境に関する情報の提供	LINE「おおた環境ナビ」登録件数	485件	600件	955件	1,100件	身近なSNSツールを通じて、環境問題に対する「気づき」や「学び」を得る契機を創出することで、区民の環境意識の高揚及び行動変容に繋がると想定し、LINEの登録件数を目標値とした。	実績値が大幅に増加したが、イベントにおける登録勧奨の増減の幅はイベント出展規模等の影響を大きく受けるため、前年度と同様、R8目標値は、R7実績値に対して省エネ機器導入事業利用による新規登録数増を見込んだ値とした。
	2	環境学習用デジタルブック	デジタルブック利用者数	–	–	–	200	環境意識の高揚及び行動変容の促進につなげるため、まずは環境問題について、正しく「知る」機会を創出することを目的としていることから、デジタルブックの利用者数を目標値とする。	（新規事業のため不要）
	3	区民運動おおたクールアクションの推進	環境意識の高揚（地域連携プロジェクト ワークショップ）	92%	100%	100%	100%	参加者の環境意識の高揚及び行動変容の促進を目的として実施していることから、事後アンケートにて「参加して環境意識が高まった」と回答した割合を目標値とした。	左記のとおり、変更なし。
	4	こども環境教室	環境意識の高揚（施設見学会）	95%	100%	93%	100%	参加者の環境意識の高揚及び行動変容の促進を目的として実施していることから、事後アンケートにて「参加して環境意識が高まった」と回答した割合を目標値とした。	左記のとおり、変更なし。
	5	イベントの開催・出展	環境意識の高揚（エコフェスタ）	96%	100%	95%	100%	参加者の環境意識の高揚及び行動変容の促進を目的として実施していることから、事後アンケートにて「参加して環境意識が高まった」と回答した割合を目標値とした。	左記のとおり、変更なし。
	6	オンライン講演会	環境意識の高揚	100%	100%	96%	100%	参加者の環境意識の高揚及び行動変容の促進を目的として実施していることから、事後アンケートにて「参加して環境意識が高まった」と回答した割合を目標値とした。	左記のとおり、変更なし。
	7	環境に関する情報の提供	環境啓発コーナーの運用	実施	–	実施	–	常設コーナーであり、不特定多数の方が利用する場所であるため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	8	同上	環境月間パネル展開催	実施	–	実施	–	不特定多数の方が利用する場所での展示であるため、正確な実績の把握ができず、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	9	「地球にやさしいまちづくりポスター」コンクール	応募点数	実施（312点）	–	実施（464点）	–	区内在住・在学小中学生の自主的な応募による事業であるため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	10	区民運動おおたクールアクションの推進	省エネ講習会	実施（49人）	–	実施 希望なし	–	自治会・町会等からの希望により実施する事業であるため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	11	大田区地球温暖化防止アンバサダー	トークセッション開催校数	実施（2校）	–	実施（２校）	–	実施上限回数（区立小中学校の各1校ずつ）が決まっているため、目標値の設定はそぐわない。	左記のとおり、変更なし。
	12	こども環境教室	出前授業	実施（443人）	–	実施（258人）	–	学校からの希望により実施する事業であり、かつ、協力企業により実施上限回数が決まっているため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	13	打ち水支援事業	給付件数	実施（59件）	–	実施（72件）	–	自治会・町会等からの希望によるものであり、かつ、「打ち水」は用具の給付有無にかかわらず促進していく事業であることから、給付件数に基づいた目標値を設定することは難しい。	左記のとおり、変更なし。
	14	Ｊ－クレジット創出プログラム（カーボンオフセット）	CO2削減量	-	–	実施	–	令和７年度からの新規事業であり、クレジットの認証およびオフセットの見通しが立つのが令和８年３月の見込みのため、現時点では実績を踏まえた目標値の設定が難しい。	R7年度分CO2削減量の算出中であるため、現時点では実績を踏まえた目標値の設定が難しい。
事業者の行動変容の促進	15	ＣＯ２可視化システム導入事業	利用件数	５件	20件	10件	10件	年度ごとにおける支援上限件数を目標値とした。	左記のとおり、変更なし。 ※支援上限数の変更（R7：20件→Ｒ８：10件）
	16	おおたクールアクション推進連絡会	活動報告会参加団体	実施（22団体）	-	実施（32団体）	–	賛同団体がテーマにより参加を判断するため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	17	省エネ診断受診促進（東京都地球温暖化防止活動推進センター）	受診件数	実施（35件）	–	実施（20件）	–	区内事業者からの希望により実施する事業であるため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
脱炭素まちづくりの推進(p.29~31)									
エネルギーの導入拡大	18	太陽光発電設備・蓄電池導入促進（住宅リフォーム助成）	-	-	2	3	3	令和７年度から、住宅リフォーム助成事業にメニュー追加。 （既存住宅に限る、区内事業者の施工に限るなど条件に合致した場合のみ該当。）	令和７年度から、住宅リフォーム助成事業にメニュー追加。（既存住宅に限る、区内事業者の施工に限るなど条件に合致した場合のみ該当。）初年度の実績をもとに令和８年度の目標値を設定した。
省エネ機器・設備導入拡大	19	家庭用燃料電池（エネファーム）導入促進	助成件数	161	150	189	150	現在の助成実績を着実に継続して進めて行くという考えであり、毎年度同数を設定した。	左記のとおり、変更なし。
	20	企業立地・ＳＤＧｓ促進助成金	認定件数	46件	38件	41件	38件	広報周知を着実に継続していくという前提のもと、初年度の実績を参考に申請の減少傾向を踏まえ設定した。	R6より実績は減少しているものの、目標値以上の実績は積み上げられている。ただ、昨今の社会情勢の影響を鑑みて、目標値は昨年度ベースとした。
	21	商店街のＬＥＤ化	商店街数	0件	-	０件	-	大多数の商店街で既にLED化が完了しており、これ以上の目標を設定することが難しいため。	左記のとおり、変更なし。
	22	公衆浴場施設改善助成　東京都「公衆浴場クリーンエネルギー化等推進事業補助金」	助成浴場数	1件	-	３件	-	各浴場の施設改善に伴う補助金のため、目標を設定することが難しいため。	左記のとおり、変更なし。
区による率先行動	23	電力の環境性向上（再エネ電力の調達）	区の電力契約における再エネ電力の割合	5.4%	47.7%	47.6%	56.5%	R7新規再エネ電力契約切替施設の電力使用量を推計して、区有施設全体の電力使用量から割り返して算出。 今後、再エネ電力契約施設を増やして割合を上げていく。	令和12年度再エネ電力100％の目標からバックキャストで算出。
	24	同上	区有施設の電力排出係数	0.258	-	調査中	-	-	-
	25	先進的省エネ機器の導入	換気機能制御装置（延べ施設数）	5	5	6	6	R7は先行導入施設の効果検証を行うため、R6と同施設数を設定。 今後は効果検証を基に対象候補施設を選定し、導入拡大を図る。	令和8年度導入予定施設を令和7年度に先行導入できたため、令和7年度と同施設数を設定。 令和７年度は検証結果を基に対象候補施設を選定し、導入拡大を図る。
	26	同上	空調機能制御装置（延べ施設数）	実証	-	導入	-（検証）	R6~7は試験導入の実証効果検証期間。 今後は効果検証結果を基に、本格導入を進めていく。	実証結果を基に、１施設へ導入を行う。
	27	水素を活用した高効率燃料電池の導入	高効率燃料電池の導入台数（延べ施設数）	1	1	1	-（検討）	R7は実証導入の結果を検証するためR6と同施設数を設定。	令和7年度の実証結果を基に導入候補施設における導入の可否を検討する。
	28	庁有車（乗用車）の電動化	導入台数（延べ台数）	25台	35台	35台	38台	リース契約の更新時期などを整理した導入ロードマップの数値を反映。	令和12年度までに電動車率100％を最終目標として、リース契約の更新時期などから切替時期を設定したロードマップの数値を反映。
	29	同上	庁有車（乗用車）における電動車の割合	52.1%	72.9%	72.9%	80.9%	リース契約の更新時期などを整理した導入ロードマップの数値を反映。	令和12年度までに電動車率100％を最終目標として、リース契約の更新時期などから切替時期を設定したロードマップの数値を反映。
	30	区有施設の脱炭素化	再生可能エネルギー設備の導入容量（延べ容量）	437.10kW	458.00kW	458.00kw	517.52kw	公共施設の新築・改築計画による導入予定数値を反映。	左記のとおり、変更なし。
	31	同上	ZEB認証取得件数（延べ施設数）	4	6	8	9	公共施設の新築・改築計画の予定数を反映。	左記のとおり、変更なし。

取組名	No.	事業	活動	R6実績	R7目標	R7実績	R8目標	目標設定理由	R７の実績を踏まえたR8目標値の整理
健やかで快適な暮らしの実現(p.42~45)									
屋外における喫煙対策の推進	32	公衆喫煙所の整備及び運用	民設民営の公衆喫煙所　整備助成件数	1	2	0	2	公衆喫煙所設置に関しては、これまでの実績に基づいて毎年の民設民営の公衆喫煙所設置目標値を２か所としている。	左記のとおり、変更なし。
	33	喫煙マナー等啓発・指導	指導員対応件数	88	83	128	98	指導員対応件数は、区民からの苦情や相談が起点となり、区の指示によって指導員を派遣し啓発・指導を実施するものである。喫煙マナーが区民に浸透するためには、喫煙マナー啓発指導員を活用した継続的な指導が欠かせない。目標値については、直近３年間の指導員対応件数の平均値を用いた。	左記のとおり、変更なし。
地域美化活動の推進	34	地域美化活動の支援（支援用品の支給）	支援用品の支給町会数	151団体	145団体	139団体	145団体	自治会・町会の希望による清掃・美化活動に対して、清掃用品を配布する事業である。今後も各特別出張所を通じて支援用品の支給についてPRを継続する。目標値については、年度毎に各町会の事情も異なるため、直近３年間の支援用品の支給を行った町会数の平均値を用いた。	左記のとおり、変更なし。
	35	はねぴょんごみゼロウォーク	支援用品配布数（ごみ袋）	96袋	115袋	120袋	123袋	個人や企業・区民団体等からの希望による清掃・美化活動に対して、清掃用品を配布する事業である。目標値については、各団体が主催する美化活動イベントの回数や規模は毎年一定ではないため、直近３年間の支援用品の配布数の平均値を用いた。	左記のとおり、変更なし。
騒音・振動の実態把握	36	自動車騒音・振動調査	自動車騒音・振動調査	実施	-	実施	–	自動車騒音・振動の実態把握を目的としているため、目標設定が適切ではない事業。	左記のとおり、変更なし。
	37	航空機騒音調査	航空機騒音調査	実施	-	実施	–	航空機騒音の実態把握を目的としているため、目標設定は適切ではない事業。	左記のとおり、変更なし。
大気環境の実態把握	38	大気汚染常時監視	大気汚染常時監視	実施	-	実施	–	大気汚染状況の実態把握を目的としているため、目標設定が適切ではない。	左記のとおり、変更なし。
住まいと工場が共存するまちづくり	39	工場公害対策等	工場等への指導	実施	-	実施	-	工場認可申請は事業者の事業活動に応じて為されるものであり、目標値の設定には適さない。	左記のとおり、変更なし。
	40	化学物質の適正管理	化学物質の適正管理及び指導	実施	-	実施	-	化学物質の使用は事業者の事業活動に応じて為されるものであり、目標値の設定には適さない。	左記のとおり、変更なし。
	41	区民の快適な生活環境の保全	公害苦情及び相談対応	実施	-	実施	-	苦情及び相談対応は、区民からの依頼が起点となるため、、目標値の設定には適さない。	左記のとおり、変更なし。
	42	アスベストの飛散防止対策	アスベスト飛散防止対策の監視指導	実施	-	実施	-	アスベストに係る監視指導は、建築物等の解体や改修に応じて行うものであり、、目標値の設定には適さない。	左記のとおり、変更なし。
その他の取組	43	ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物に関する取組	-	実施	-	実施	-	PCB特措法に基づく、区の施設で使用されている電気機器に含まれるＰＣＢ廃棄物を処分する事業（処分期限は令和８年度末）であり、義務的な事業のため目標値の設定には適さない。	左記のとおり、変更なし。
環境にやさしい移動・輸送手段の充実(p.57)									
移動手段の脱炭素化の普及・促進	44	ＥＶカーシェアリング普及事業	稼働率 （1日24ｈを稼働時間とした場合）	26%	30%	26%	30%	事業継続の観点から、カーシェアリング事業の最低採算ライン稼働率（20%）の達成を目標にした。(R6) 数値は経産省の検討会資料より参照。	R7実績に加え、周知の取組などを積み重ねた目標として30%を設定した。
	45	庁有車を活用したEVの普及活用事業	外部給電機を活用した訓練等の回数	-	-	-	実施	令和８年度からの新規事業であり、EVの防災性の周知を踏まえて防災訓練等での活用自体を目的とするため、実数値による目標設定はそぐわない。	（新規事業のため不要）
	46	大田区コミュニティバス「たまちゃんバス」	-	運行	-	運行	-	自動車利用の抑制へ向けて、安定的な継続運行を維持していくことが本事業の目標であるため数値設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	47	大田区コミュニティサイクル事業	サイクルポート整備数	32ポート	-	52ポート	-	サイクルポート整備数は既に目標を達成しており、現在、需要に応じた設置判断をしているため、新たな目標数の設定はない。需要予測が困難なため、設置地域(場所)の想定も不可能である。	左記のとおり、変更なし。
	48	自転車走行環境の利用	自転車走行環境整備距離	累計170km	累計170km	累計171km	-	目標としていた区道約170kmの自転車走行環境整備はR5年度に概成しているため。	左記のとおり、変更なし。
みどりのまちの実現(p.64~65)									
緑化の推進	49	緑の保護	保護樹	1,053本	1065本	1,023本	1048本	所有者による自主的な申し込みであり、また事業の初期に登録した樹木の寿命が到来しており、目標値設定が困難である。	左記のとおり、変更なし。 参考に直近3年間の平均値を目標に記載した。
	50	緑の普及啓発	緑の普及講座等	実施	実施	実施	-	事業参加をきっかけとして、環境意識の高揚及び行動変容の促進を目的として実施していることから、今後は、事後アンケートにて「参加して環境意識が高まった」と回答した割合を目標値とすることを検討する。	左記のとおり、変更なし。
	51	同上	おおたの名木選 周知	実施	–	実施	–	名木の保全を目的とし、目標達成度が測ることが困難であるため、数値目標の設定は適さない。	左記のとおり、変更なし。
グリーンプランとの連携	52	環境保全、地域振興に資するみどり空間の整備	みどり空間の整備	-	２か所	２か所	２か所	グリーンインフラを取り入れたみどり空間の整備によりみどりのまちの実現につながることから、整備箇所数を目標値とした。	左記のとおり、変更なし。
	53	防災・減災に資する雨水浸透・貯留設備の設置	雨水浸透・貯留設備の設置	-	–	–	–	令和９年度の公園等への雨水浸透・貯留設備の設置を目指し、令和7年度は設置に向けた調整・設計を予定しており、令和7年度単年での目標値の設定は難しい。	令和９年度の公園等への雨水浸透・貯留設備の設置を目指し、令和８年度は設置に向けた調整・設計を予定しており、令和８年度単年での目標値の設定は難しい。
	54	みどり基金の利活用	基金の周知・運用	-	–	–	–	基金は個人や法人からの自発的な寄附によるものであるため、目標値の設定は難しい。	令和７年度より基金の運用が開始されたため、令和８年度は今後の利活用先について具体的な検討を予定している。また、基金は個人や法人からの自発的な寄附によるものであるため、目標値の設定は難しい。
生物多様性の保全・再生(p.69~70)									
自然環境の保護	55	自然観察会・体験会	自然観察会参加者数	実施	実施	実施	-	事業参加をきっかけとして、環境意識の高揚及び行動変容の促進を目的として実施していることから、今後は、事後アンケートにて「参加して環境意識が高まった」と回答した割合を目標値とすることを検討する。	左記のとおり、変更なし。
	56	特定外来生物の防除	ハクビシン等被害対策わな設置件数	116件	155件	130件	151件	生物の生息状況は年度毎で異なり、加えて区民申し込み事業であるため、過去目標値設定が難しい。過去3年の平均値を目標値としたが、今後適切な目標値の変更を検討する。	左記のとおり、変更なし。 参考に直近3年間の平均値を目標に記載した。
	57	野生鳥獣対策	カラス被害対策対応件数	52件	45件	50件	48件	生物の生息状況は年度毎で異なり、加えて区民申し込み事業であるため目標値設定が難しい。過去3年の平均値を目標値としたが、今後適切な目標値の変更を検討する。	左記のとおり、変更なし。 参考に直近3年間の平均値を目標に記載した。
	58	自然観察路	周知	実施	-	実施	-	長期的な保全の性質上、目標達成度が測ることが困難であるため、数値目標の設定は適さない。	左記のとおり、変更なし。
	59	おおた区いきもの発見マップ	-	-	–	実施	–	令和７年度に生物多様性データ整理し、一部をマップ化しPDFで公開する。 今後、データの活用により生態把握や自然再興への意識啓発を図る。	左記のとおり、変更なし。
水環境の実態把握	60	河川・海域調査	河川・海域調査	実施	–	実施	–	河川・海域の実態把握を目的としているため、目標設定が適切ではない事業。	左記のとおり、変更なし。
	61	水辺環境改善対策等	呑川の水環境実態調査監視日数	実施	–	実施	–	呑川の改善状況の把握を目的としているため、目標設定が適切ではない事業。	左記のとおり、変更なし。
	62	同上	水質関係異常事故	実施	–	実施	–	水辺での事故発生時の対応のため、目標設定が適切ではない事業。	左記のとおり、変更なし。
	63	水生生物・鳥類調査	水生生物・鳥類調査	-	–	-	–	水生生物・鳥類調査を行い、水辺の状況を把握することを目的としているため、目標設定が適切ではない事業。	左記のとおり、変更なし。

取組名	No.	事業	活動	R6実績	R7目標	R7実績	R8目標	目標設定理由	R７の実績を踏まえたR8目標値の整理
ごみを排出しないライフスタイルへの転換(p.80~82)									
ごみ減量・3R推進のPRの充実	64	冊子・リーフレット等配布、アプリ配信（広報活動）	スマートフォンアプリダウンロード数	16,152件	17,000件	16,011件	17,000件	身近なSNSツールを通じて正しい排出方法等を簡単に確認できることで、区民の分別意識の醸成に繋がると想定し、アプリのダウンロード件数を目標値とした。	R7目標値を継続。
	65	イベント参加によるＰＲ	参加イベント数	6件	６件	６件	６件	区民の環境意識の向上及び行動変容の促進を目的としてイベント参加していることから、参加イベント数を目標値とした。	左記のとおり、変更なし。R8の予定イベント6件全てに参加する。
	66	古着の回収事業	回収量	125ｔ	148ｔ	150ｔ	165ｔ	参加者の環境意識の高揚及び行動変容の促進を目的として実施していることから、回収量を目標値とした。	R7実績の10%増。
	67	資源循環学習教室等の実施	資源循環学習教室等参加団体数	実施（19団体）	–	実施（24団体）	–	効果的な目標値設定について検討中のため、現時点では設定が難しい。	左記のとおり、変更なし。
	68	ふれあい指導の推進	啓発指導実施集積所数（延べ）	実施（5,534か所）	–	実施（3,451か所）	–	指導数の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	69	事業者に対する排出指導	立入指導調査件数（事業用大規模建築物）	実施（175件）	–	実施（106件）	–	指導数の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	70	同上	立入指導調査（事業用建築物）	実施（153件）	–	実施（122件）	–	指導数の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	71	事業者に対する普及・啓発	廃棄物管理責任者講習会受講事業者数	実施（142所）	–	実施（118所）	–	受講者数の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	72	同上	廃棄物の減量及び適正処理事業者等表彰	実施（2件）	–	実施（0件）	–	表彰数の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	73	浄化槽清掃業者の許可・指導	-	実施	–	実施	–	実施数の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	74	民間事業者を活用したリユース推進事業	-	実施	–	実施	–	実際にリユースされた数または重量が把握できないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	75	粗大ごみからのピックアップ回収	羽毛布団	実施（2,469枚）	–	実施（2,495枚）	–	ピックアップ回収量の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	76	同上	衣装ケース	実施（49ｔ）	–	実施（36ｔ）	–	ピックアップ回収量の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	77	同上	自転車	実施（10,826台）	–	実施（10,484台）	–	ピックアップ回収量の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
資源の再生利用の推進(p.92 ~93)									
Recycle	78	資源プラスチック回収	分別率(回収量)	23.9%（1,858ｔ）	23%	23.9%（5,049ｔ）	24.00%	区民の分別意識と回収率の向上を目的として実施していることから、分別率を目標値とした。	他区の分別率が20~25%で推移 R9までに25%を目標とする。
	79	廃食用油のSAFリサイクル	廃食用油回収量	639Ｌ	3,450Ｌ	3,182Ｌ	3,450Ｌ	参加者の環境意識の向上及び行動変容の促進を目的として実施していることから、回収量を目標値とした。	R7目標値を継続。
	80	集団回収事業への支援	活動実績数	742団体	748団体	729団体	735団体	団体数の大幅な増加は見込めないものの、環境意識の向上等につながるため、実績数を今後の目標値とした。	R７実績の６団体増（大森、調布、蒲田それぞれ２団体増）
	81	資源の行政回収・集団回収	行政回収収集量	実施（23,894t）	–	実施（23,583t）	–	回収量の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	82	同上	集団回収収集量	実施（8,567t）	–	実施（7,643t）	–	回収量の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	83	資源持ち去り防止パトロール	警告書交付	実施（23件）	–	実施（17件）	–	交付数の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	84	不燃ごみの適正処理及び資源化事業	資源化量	実施（1,209ｔ）	–	実施（1,177ｔ）	–	回収量の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	85	小型家電リサイクル事業	資源化量	実施（2,107ｔ）	–	実施（2,071ｔ）	–	回収量の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
	86	ペットボトルのボトルtoボトル水平リサイクル	-	実施	–	実施	–	回収量の増減では目標達成度が測れないため、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。
食品ロス削減の推進(p.103)									
行動変容へのスイッチ 食品ロス削減	87	食品ロス削減事業	大田区食べきり応援団年度末登録事業者数	59事業者	64事業者	57事業者	64事業者	参加者の環境意識の高揚及び行動変容の促進を目的として実施していることから、登録者数を目標値とした。	R7目標値を継続。
	88	同上	出前授業参加者数	518人	600人	783人	861人	加者の環境意識の高揚及び行動変容の促進を目的として実施していることから、参加者数を目標値とした。	R7実績の10%増。
	89	フードドライブ	フードドライブ回収量	885kg	1,000kg	720kg	1,000kg	参加者の環境意識の高揚及び行動変容の促進を目的として実施していることから、回収量を目標値とした。	R7目標値を継続。
	90	食品ロス削減月間における普及啓発	食品ロス削減月間パネル展開催	実施	–	実施	–	不特定多数の方が利用する場所での展示であるため、正確な実績の把握ができず、目標値の設定は難しい。	左記のとおり、変更なし。